

# 入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和6年10月16日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所 管理部門長 二階堂 英城

## 1. 調 達 内 容

- (1) 調達物品及び数量 自動電気泳動装置 一式
- (2) 調達物品の仕様 入札説明書による。
- (3) 納 入 期 限 令和7年1月31日
- (4) 納 入 場 所 沖縄県石垣市椶海大田148  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所 八重山庁舎
- (5) 入 札 方 法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程(平成13年4月1日付け13水研第65号)第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和4・5・6年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「物品の販売」の業種「精密機器類」又は「その他」の資格保有者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。  
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

## 3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等(入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等)の交付を受けること。

### ① 直接交付

沖縄県石垣市椶海大田148  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所 八重山庁舎  
電 話 0980-88-2571  
F A X 0980-88-2573

### ② 宅配便着払いによる交付

任意書式に「自動電気泳動装置入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

### ③ メールによる交付

任意書式に「自動電気泳動装置入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

## 4. 入 札 説 明 会 の 日 時 及 び 場 所 等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和6年10月22日までに上記3.あてにメール(アドレスは入札説明書に記載)又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に対して行うとともに当機構のホームページにて公表す

ることにより入札説明会に代える。  
なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。  
ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

#### 5. 応札仕様書に関する事項

競争参加者は、本物品を納入できることを証明する応札仕様書を提出しなければならない。入札者は下記6.開札までの間において、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所管理部門長から当該応札仕様書に関し説明を求められた場合は、それに応じなければな

##### (1) 応札仕様書等

郵便の場合は書留郵送によることとし、必着のこと。提出物の詳細は入札説明書による。開札は応札仕様書により納入物品が仕様を満たすことを証明した場合、下記6.にて行う。

##### (2) 提出場所

3. ①に同じ。

##### (3) 提出期限

令和6年10月28日 17時00分

#### 6. 入札の日時及び場所等

##### (1) 入札の日時及び場所

令和6年11月7日 11時00分  
沖縄県石垣市椏海大田148  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所 八重山庁舎 本館会議室

##### (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所

令和6年11月6日 17時00分  
3. ①に同じ。

#### 7. その他

##### (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨。

##### (2) 入札保証金及び契約保証金

免除。

##### (3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。

##### (4) 契約書作成の要否

要。

##### (5) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

##### (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

##### (7) 詳細は入札説明書による。

#### 8. 契約に係る情報の公表

##### (1) 公表の対象となる契約先

次の①及び②いずれにも該当する契約先

- ① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること
- ② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2

なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。

※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。

※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。

(2) 公表する情報

上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。

- ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当機構OB)の人数、職名及び当機構における最終職名
- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨  
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報(人数、現在の職名及び当機構における最終職名等)
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

当機構ホームページ(契約に関する情報)に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認いただくとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。  
なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了知願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文科科学大臣決定)に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」(URL:[http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge\\_request/note\\_contract.pdf](http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf))をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類(①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書)は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

## 購入仕様書

1. 品 名 自動電気泳動装置

2. 数 量 一式

1) 自動電気泳動装置 1台

2) 制御用PC 1台

3. 仕 様

1) 自動電気泳動装置

- (1)分析用チップもしくはテープを用い、RNA、DNAの電気泳動分析が可能であること。
- (2)DNA、RNAの電気泳動分析において、一度に16検体以上の連続分析が可能であること。
- (3)分析レーンが独立しており、サンプル間のクロスコンタミネーションや汚染が軽減されていること。
- (4)泳動用試薬を1サンプルから調整できること。
- (5)サンプル容器として8連チューブもしくは96ウェルプレートを設定できること。
- (6)分析に必要なDNA、RNA、タンパク質のサンプル量は2 $\mu$ L以下であること。
- (7)目的に応じてRNA及びDNA試料の分子量範囲、濃度に対応できる複数のアプリケーションキットがあること。
- (8)total RNAの分解度を客観的に評価するRINと同等の判断基準を定量できること。
- (9)分析用チップもしくはテープにあるバーコードにより、自動的に分析アッセイを選択し、使用履歴の管理ができること。

2) 制御用PC

- (1)専用のデータ解析ソフトウェアが付属していること。
- (2)形状はノート型であること。
- (3)OSはWindows11 Pro、メモリは8GB以上、ストレージはSSD 512GB以上であること。
- (4)インターネット等を介さず自動電気泳動装置と制御用PCのみで運用が可能であること。

4. 納入場所 沖縄県石垣市椋海大田 148  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所八重山庁舎

5. 納入期限 令和7年1月31日

6. その他

- 1) 搬入、据付にかかる費用は本調達に含むこと。なお、搬入の際は事前に担当職員と打合せを行い、既存設備等に十分に注意して作業を行うこと。
- 2) 搬入時に本装置の取扱いに関する説明を行うこと。また、当機構職員からの質疑に対応すること。
- 3) 本装置の操作説明書（日本語）を印刷されたもの（1部以上）と電子データを提出すること。
- 4) 納入後1年間に発生した故障に関しては、使用者の責によるものを除き無償による保証を行うこと。
- 5) 詳細については、担当職員の指示に従うこと。